

平成15年度（2003年度）日本留学試験

総合科目

（80分）

I 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題用紙の中を見ないでください。
2. この問題用紙は、18ページあります。
3. 解答は、解答用紙に鉛筆（HB）で記入してください。
4. 問題用紙の余白は、メモに使ってもいいです。
5. 監督者の許可なしに、部屋の外に出ることはできません。
6. 試験が終わっても、この問題用紙を持ち帰ることはできません。
7. 受験番号と名前を下の欄に、受験票と同じように記入してください。

II 解答上の注意

1. 各問題には、その解答を記入する行番号 1 , 2 , 3 , ...がついています。解答は問題の文の指示にしたがって、解答用紙（マークシート）の対応する解答欄にマークしてください。
2. 解答用紙に書いてある注意事項も必ず読んでください。

受験番号			*					*						
名前														

問1 戦後の日本社会の変化に関するある日本人の父と息子の次の会話を読んで、下の問い(1)～(4)に答えなさい。

息子：お父さんも、もうすぐ還暦だね。

父：そうか、1 故郷の農村を出て、会社に就職したのが1962年だった。

息子：お父さんが就職した会社は、2 高度成長を担った当時の花形輸出産業の会社だった
んだよね。

父：まあな。ところで、仕事は順調かい？

息子：結構、大変だよ。3 僕の業界は最近、東京市場をウォール街（Wall Street）やシティ（the City）のようにしようと、規制緩和が急速に進んで国際的な競争が激しくなってきたんだ。だから、すごく忙しくなったよ。4 結婚はまだ先だな。

(1) 下線部1について、当時、この父のように、農村から就職のために都市に出る若者が非常に多かった。これによって生じた問題は何か。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

1

- ① 米の自給率の低下
- ② 農業人口の低年齢化
- ③ ドーナツ化現象（doughnut phenomenon）
- ④ 農村の過疎化（depopulation）

(2) 下線部2について、この父が就職した会社の業種は何か。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

2

- ① 航空産業 ② 情報産業 ③ 繊維産業 ④ 石炭産業

(3) 下線部3について、この息子の勤めている会社の業種は何か。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

3

- ① 自動車 ② 電器 ③ 金融 ④ コンピュータ・ソフト

総合科目ー2

- (4) 下線部 4 の息子の発言のように、若い人の結婚は遅くなり、日本社会は少子化の傾向にある。少子化の進展のため近い将来に生じるのではないかと心配されている問題とは何か。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

4

- ① 公的年金の破綻 (collapse)
- ② 自然環境の悪化
- ③ 教育の質の低下
- ④ 少年犯罪の増加

問 2 日本の女性の社会参加に関する次の 2 人の会話を読み、下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

A：最近では、日本でも、家庭の外で働く女性が多くなりました。

B：1日本国憲法では、両性の平等が定められていますよね。

A：国際連合では、女性労働について、1979年に (a) が採択されました。

B：日本でも、1985年に (b) が制定されたんですよ。ここでは、2社会での男女平等がめざされていますが、まだ十分とはいえません。

A：しかし最近では (c) によって、男性が育児休暇を取ることができるようになって、男女の地位の均等化が一歩進んだと言えます。

- (1) 下線部 1 に関して、日本国憲法では両性の平等についてどのように定められているか。最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

5

- ① 婚姻は両性の合意のみによって成立する。
- ② 選挙権は男性が満18歳以上、女性が満20歳以上と定められている。
- ③ 公立の学校は、すべて男女共学でなければならない。
- ④ 国家公務員の採用数は、ほぼ男女同数でなければならない。

- (2) 上の文中の空欄 (a) ~ (c) に当てはまる語の正しい組み合わせを、次の①~④の中から一つ選びなさい。

6

	a	b	c
①	女性差別撤廃条約	育児・介護休業法	男女雇用機会均等法
②	育児・介護休業法	男女雇用機会均等法	女性差別撤廃条約
③	男女雇用機会均等法	女性差別撤廃条約	育児・介護休業法
④	女性差別撤廃条約	男女雇用機会均等法	育児・介護休業法

注) 女性差別撤廃条約 (Convention on the Elimination of Discrimination against Women)

育児・介護休業法 (Law on Leave for Care of Children and Other Family Members)

男女雇用機会均等法 (Law on Equal Employment Opportunity for Men and Women)

- (3) 下線部 2 「社会での男女平等がめざされてますが、まだ十分とはいえません」とあるが、日本でも、かなりの程度男女平等が達成されている領域がある。それについて最も適当なものを、次の①~④の中から一つ選びなさい。

7

- ① 国会議員の比率
- ② 企業の管理職の比率
- ③ 高等教育への進学率
- ④ 弁護士の比率

- 問3 次の文章を読んで、空欄 (a) ~ (c) に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを、下の①~④の中から一つ選びなさい。

8

資本主義経済は、およそ200年前に (a) で起こった産業革命をきっかけとして発達した。(b) などの動力源や力織機 (power loom) などの導入によって、工場制手工業が (c) にとって代わられた。

	a	b	c
①	アメリカ	蒸気	知識集約型産業
②	イギリス	蒸気	工場制機械工業
③	イギリス	電力	加工組立型産業
④	アメリカ	電力	巨大装置産業

注) アメリカ (United States of America), イギリス (United Kingdom)

総合科目ー4

問4 資本主義経済の発展に関する次の文章を読んで、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

1 20世紀初頭に確立した大量生産体制は、企業の大規模化を促進した。企業規模を拡大するには巨額の資金が必要となるが、これを可能にしたのが 2 株式会社制度の発達であった。しかしそれは、資本の集積を進め、独占企業体を登場させ、 3 さまざまな弊害も生み出した。

(1) 下線部1「20世紀初頭に確立した大量生産体制」の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

9

- ① カール・マルクス (Karl Marx) が、『資本論』の中で計画経済体制による大量生産を主張した。
- ② アダム・スミス (Adam Smith) が、『国富論』の中で分業による大量生産を明らかにした。
- ③ ヘンリー・フォード (Henry Ford) が、自動車の大量生産システムを最初に確立した。
- ④ ビル・ゲイツ (Bill Gates) が、ソフトウェアの大量生産を最初におこなった。

(2) 下線部2の「株式会社制度」の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

10

- ① 株主総会での株主の議決権は、持ち株数に応じて与えられている。
- ② すべての法人企業は、株式会社の形態をとっている。
- ③ 最大の株式を所有している出資者が、経営に直接あたる。
- ④ 株式を売買できるのは、証券市場だけである。

(3) 下線部 3 の「さまざまな弊害」の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

11

- ① 大企業間での競争が過熱し、不当な価格引き下げが起こりやすくなる。
- ② 市場メカニズムが有効に機能しないことから、価格が下がりにくくなる。
- ③ 大企業間での競争が過熱し、価格協定 (cartel) が生まれにくくなる。
- ④ 市場メカニズムが有効に機能しないことから、企業が利潤を確保しにくくなる。

問 5 1930年代のニューディール (New Deal) 政策と最も密接に関係する人物はどれか。
次の①～④の中から一つ選びなさい。

12

- ① アダム・スミス (Adam Smith)
- ② ジョセフ・シュンペーター (Joseph A. Schumpeter)
- ③ ミルトン・フリードマン (Milton Friedman)
- ④ ジョン・メイナード・ケインズ (John Maynard Keynes)

問 6 需要と供給に関する次の文章中の空欄 (a) ～(c) に当てはまる語の組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

13

生活必需品は、(a) や (b) が変わっても、(c) は変化しにくい。その一方で、装飾品や娯楽品などは、(a) が増加して (b) が下がれば、それにつれて (c) は増加する。

	a	b	c
①	需要	価格	供給
②	価格	需要	供給
③	供給	需要	価格
④	供給	価格	需要

総合科目一6

問7 一般に、日本では貯蓄する傾向が強く、アメリカでは消費する傾向が強いといわれている。次の表は、日本とアメリカの個人金融資産の内訳を示したものである。この表を見て、下の問い(1)、(2)に答えなさい。

日本とアメリカの個人金融資産内訳 単位：％

	A	B	C	債券	保険・年金	その他
日本	53.0	8.8	2.5	3.9	28.1	3.7
アメリカ	11.4	34.9	12.3	8.5	30.2	2.7

『日本経済新聞』2001年11月24日（(注) 2001年6月末。日銀、米連邦準備理事会調べ。「株式」には出資金を含む）

注）アメリカ（United States of America）、債権（bonds）

- (1) 表中の空欄A～Cに当てはまる金融資産の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

14

	A	B	C
①	投資信託	株式	現金・預金
②	株式	現金・預金	投資信託
③	現金・預金	株式	投資信託
④	株式	投資信託	現金・預金

注）投資信託（investment trust）

- (2) 企業や政府が資金を集める方法としては、有価証券を発行して市場から直接集める直接金融と、金融機関から借り入れる間接金融とがある。上の表から、日本とアメリカはどちらのタイプであると考えられるか。正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

15

- ① 日本もアメリカも、直接金融型である。
- ② 日本もアメリカも、間接金融型である。
- ③ 日本は直接金融型であるが、アメリカは間接金融型である。
- ④ 日本は間接金融型であるが、アメリカは直接金融型である。

注）直接金融（direct finance）、間接金融（indirect finance）

問8 次の(a)～(d)は、第2次世界大戦(World War II)後の日本の産業構造について、4つの時期の特徴を述べたものである。その時期の順序として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

16

- (a) 環境汚染と石油危機(The Oil Crisis)の影響で、環境保護や省エネルギーの技術開発が進んだ。
- (b) 費用削減のため、製造業は海外への直接投資を拡大し、企業活動の国際化が急速に進展した。その結果、産業の空洞化(hollowing-out)が生じた。
- (c) マイクロエレクトロニクス(microelectronics)技術の発展と積極的な先端技術への研究開発投資によって、半導体(semiconductor)産業が主要産業の一つになった。
- (d) 外国からの技術を導入しつつ、積極的に設備投資をおこなった。規模の経済と外部経済効果がもたらされ、重化学工業化を実現した。

①	a → d → b → c
②	d → a → b → c
③	a → b → d → c
④	d → b → a → c

問9 次の文章を読み、下の問い(1)、(2)に答えなさい。

世界各地で、国を越えた地域単位の協力関係が進められている。ヨーロッパ(Europe)では、1993年11月に(a)が発足し、現在、1 さらなる統一制度の設立が進められている。北米大陸では、(b)が締結され、関税の段階的撤廃など単一市場の形成が進行中である。東南アジアでは、(c)が経済と政治分野での協力を進めている。

- (1) 文章中の空欄(a)、(b)、(c)に当てはまる言葉の組み合わせとして最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

17

	a	b	c
①	OECD	NAFTA	ASEAN
②	EC	EFTA	APEC
③	EU	NAFTA	ASEAN
④	EU	EFTA	APEC

- (2) 下線部1「さらなる統一制度」の説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

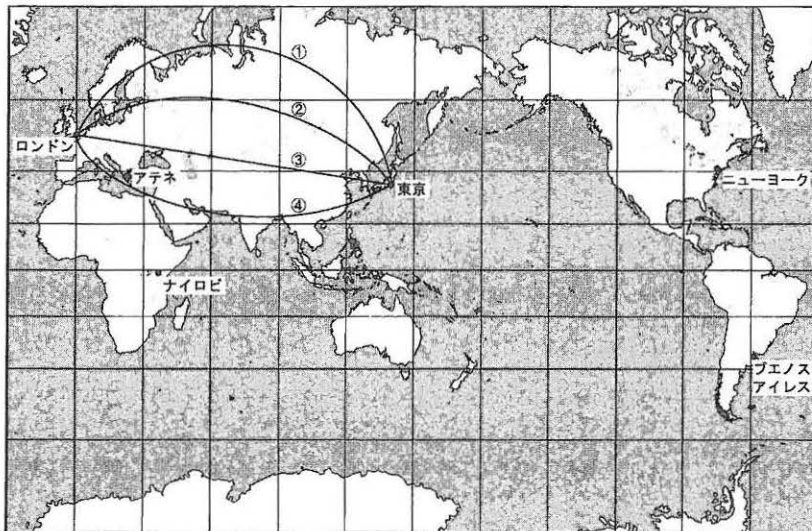
18

- ① ヨーロッパ中央銀行を設け、大部分の国で共通通貨を導入した。
- ② 各国は、軍事安全保障同盟であるWTO（世界貿易機関）に一括加入した。
- ③ ヨーロッパ裁判所を設け、各国の司法機関はすべて廃止した。
- ④ 英語を共通言語として定め、各国は英語教育を拡充した。

問10 地球の表面を平面に投影して描いた世界地図は、いかなるものであっても、距離・面積・方位・角度・形のすべてを正しく表現することはできない。そこで、地図を利用するときには、その地図の投影法の特徴をよく知っておく必要がある。次に示す図Aは、東京を中心とした正距方位図法（azimuthal equidistant projection）によって描かれている。図Bは、メルカトル図法（Mercator projection）によって描かれている。図A、Bそれぞれの特徴をよく考慮して、下の問い(1)～(3)に答えなさい。



図A 正距方位図



図B メルカトル図

注) アテネ (Athens), ナイロビ (Nairobi), ロンドン (London), ニューヨーク (New York), ブエノスアイレス (Buenos Aires)

- (1) 図A, Bの説明として正しいものを, 次の①～④の中から一つ選びなさい。

19

- ① 図Aでは, 任意の2地点を結ぶ直線は最短コースを示している。
- ② 図Aでは, 東京と任意の地点を結ぶ直線は最短コースを示している。
- ③ 図Bでは, 高緯度地域に比べ, 低緯度地域の面積は拡大されている。
- ④ 図Bでは, 大陸の形にはゆがみがあるが, 面積は正しく表現されている。

- (2) 図Bにおいて, 東京－ロンドン間の最短コースを示す線を, 図中の①～④の中から一つ選びなさい。

20

- (3) 東京から見た方位がほぼ東になる都市を, 次の①～④の中から一つ選びなさい。

21

- ① アテネ
- ② ナイロビ
- ③ ニューヨーク
- ④ ブエノスアイレス

総合科目－10

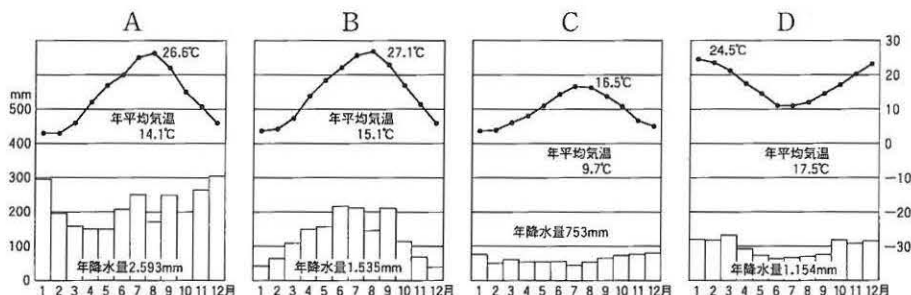
問11 日本の中部地方に関する次の文章を読んで、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

中部地方は、中央部の高い山々が連なる中央高地、太平洋側の東海地方、日本海側の北陸地方の三つの地域に分けられる。

東海地方には、この地域の最大の都市である（ a ）市を中心に中京工業地帯が作られている。この工業地帯の町の一つである（ b ）市は自動車産業が盛んであり、ここには多くの工場がある。しかし、近年では、日本の自動車会社は、（ c ）などの問題への対策として、海外に工場を移転する傾向がある。

- (1) 下線部1に関して、東海地方、北陸地方の気候を表すグラフの組み合わせとして最も適当なものはどれか。次の①～④の中から一つ選びなさい。

22



	東海地方	北陸地方
①	A	D
②	B	A
③	C	B
④	D	C

- (2) 上の文章中の空欄（ a ），（ b ）に当てはまる都市名の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

23

	a	b
①	横浜	川崎
②	大阪	神戸
③	名古屋	豊田
④	北九州	福岡

- (3) 上の文章中の空欄（c）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

24

- ① 貿易摩擦や円高
- ② ストライキ（strike）や円安
- ③ ストライキや円高
- ④ 貿易摩擦や円安

- 問12 次の（a）～（c）の文章は、それぞれ、どの国の憲法の特徴を示したもののか。その組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

25

- （a） 体系化されていないが、様々な時代の実定法（enacted law）や判例から構成されている。
- （b） 状況の変化に柔軟に対応するため、これまで幾度も修正されている。
- （c） 戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認を明記した平和憲法である。

	a	b	c
①	アメリカ	日本	イギリス
②	日本	イギリス	アメリカ
③	イギリス	日本	アメリカ
④	イギリス	アメリカ	日本

注）アメリカ（United States of America）、イギリス（United Kingdom）

総合科目－12

問13 次の年表は、冷戦（Cold War）時代の軍縮をめぐる歩みを示したものである。これをもとに、下の問い(1)～(3)に答えなさい。

1961年 ジュネーヴ軍縮委員会が組織される。

1963年 「部分的核実験停止条約（PTBT）」が締結される。

1968年 核拡散防止条約（NPT）が締結される。

1969年 アメリカ（United States of America）とソ連（Union of Soviet Socialist Republics）の間で、戦略兵器制限交渉が開始される。

1972年 が、中国（China）とソ連を訪問する。

1974年 アメリカとソ連の間で地下核実験制限条約が調印される。

1975年 （ a ）戦争終結。

1979年 ソ連が（ b ）に侵攻する。

1987年 が、アメリカを訪問する。アメリカとソ連の間で中距離核戦力全廃条約（INF条約）が調印される。

1991年 アメリカとソ連の間で、第1次の戦略兵器削減条約（START）が調印される。

注） PTBT：Partial Test Ban Treaty

NPT：Treaty on the Non-Proliferation of Nuclear Weapons

INF条約：Intermediate-Range Nuclear Forces Treaty

START：Strategic Arms Reduction Treaties

(1) 下線部1「部分的核実験停止条約」について述べた文章として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

26

- ① 原子爆弾の実験は認めるが、水素爆弾の実験は禁止した。
- ② 地下核実験施設以外での核実験を禁止した。
- ③ 核兵器の開発のための実験は認めるが、その輸出を禁止した。
- ④ アメリカとソ連以外の国の核実験を禁止した。

- (2) 年表中の空欄 A, B に当てはまる人名の組み合わせとして正しいものを, 次の①～④の中から一つ選びなさい。

27

	A	B
①	カーター	ブレジネフ
②	ブレジネフ	カーター
③	ニクソン	ゴルバチョフ
④	ゴルバチョフ	ニクソン

注) カーター (Jimmy Carter), ブレジネフ (Leonid Brezhnev), ニクソン (Richard Nixon),
ゴルバチョフ (Mikhail Gorbachev)

- (3) 年表中の空欄 (a), (b) に当てはまる地名の組み合わせとして正しいものを, 次の①～④の中から一つ選びなさい。

28

	a	b
①	イラン・イラク	ベトナム
②	ベトナム	アフガニスタン
③	ベトナム	クウェート
④	イラン・イラク	アフガニスタン

注) イラン (Iran), イラク (Iraq), ベトナム (Vietnam), アフガニスタン (Afghanistan),
クウェート (Kuwait)

- 問14 日本の司法権について説明した次の文章を読み, 日本の裁判所の特徴として正しいものを, 下の①～④の中から一つ選びなさい。

29

日本の司法権は, 最高裁判所と下級裁判所に属する。第一審判決に対し上訴するのを控訴, 第二審判決に対し上訴するのを上告という。裁判は原則として傍聴^{*}することができる。また, いずれの裁判所にも, 法律・規則等が憲法に違反していないかを審査する権限がある。

※傍聴する: observe trials

- ① 違憲審査権 (judicial review) を持っているのは, 最高裁判所のみである。
- ② 日本の司法権は, 慎重を期すため, 三審制を採用している。
- ③ 日本では, 裁判の公開原則を導入しようと検討している。
- ④ 日本には, 軍法会議 (court martial) や行政裁判所などの特別裁判所が存在する。

総合科目－14

問15 日本の内閣と国会の関係として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

30

- ① 衆議院は、内閣不信任案を提出することができる。
- ② 参議院は、内閣不信任案を提出することができる。
- ③ 内閣不信任案が可決されると、内閣は必ず総辞職する。
- ④ 内閣不信任案が否決されると、国会は必ず解散する。

注) 内閣不信任案 (non-confidence motion against the Cabinet)

問16 イギリス (United Kingdom) のM・サッチャー (Margaret Thatcher) 政権とアメリカ (United States of America) のR・レーガン (Ronald Reagan) 政権に共通する政策について説明した文章として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

31

- ① 労働組合と協調し、企業の国営化を遂行した。
- ② 社会保障を重視し、政府の福祉予算を増やした。
- ③ 財政支出を抑えるために、軍事予算を大幅に削減した。
- ④ 財政を立て直すために、「小さな政府」を目指した。

- 問17 次の二つの表は、19世紀半ば頃、日本国内最大の貿易港であった横浜港の品目別の輸出額、および輸入額の比率を示したものである。これを参考にして、下の問い(1)、(2)に答えなさい。

輸出額の品目別の比率 単位：％

生糸	茶	蚕種	その他
84	10	4	2

注) 蚕種 (silkworm eggs)

輸入額の品目別の比率 単位：％

毛織物	綿織物	綿糸	金属	艦船	その他
43	38	7	3	2	7

(安藤良雄『近代日本経済史要覧』から作成 東京大学出版会による)

- (1) この表を見て、この時期の日本の輸出入構造の特徴を示した文章として最も適切なものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

32

- ① 原料を輸入して、繊維製品を輸出していた。
- ② 原料を輸入して、軽工業製品を輸出していた。
- ③ 繊維製品を輸入して、半製品・農産物を輸出していた。
- ④ 重工業製品を輸入して、半製品・農産物を輸出していた。

- (2) この表から判断して、この時期の日本の最大の輸入相手国はどこであったか。最も適切な国名を、次の①～④の中から一つ選びなさい。

33

- ① イギリス ② アメリカ ③ オランダ ④ フランス

注) イギリス (United Kingdom), アメリカ (United States of America), オランダ (Netherlands), フランス (France)

問18 次の表は、世界恐慌（Great Depression）期までの日本とアメリカ（United States of America）の間の貿易に関するものである。この表から読みとれることとして最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

34

日本-アメリカ間の貿易構造

単位：％

	日本		アメリカ	
	アメリカ向け 輸出比率	アメリカからの 輸入比率	日本向け 輸出比率	日本からの 輸入比率
1900～04	29.5	17.2	1.6	4.2
05～09	29.4	17.3	2.2	5.0
10～14	26.1	16.5	2.0	5.1
15～19	31.7	33.4	3.4	9.1
20～24	38.8	31.4	5.4	9.5
25～29	34.5	28.6	5.2	9.5
30～34	28.1	31.9	6.9	9.1

（中村隆英『明治大正期の経済』東京大学出版会による）

注）比率は、日本・アメリカとも、それぞれの輸出総額・輸入総額に対するものである。

- ① 互いの貿易の相互依存度は、第1次世界大戦（World War I）期以降に高まった。
- ② 日本もアメリカも、互いの貿易の相互依存度は常に高かった。
- ③ 日本のアメリカへの輸出比率は、世界恐慌期にも、ほとんど減らなかった。
- ④ アメリカにとって日本は、常に最大の貿易相手国だった。

問19 次の表は、日本の1960年から1975年までの産業にかかわる数値を示したものである。この表から推測できる内容として最も適当なものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

35

単位：％

	第一次産業就業人口比	輸入エネルギー依存率
1960	32.7	44.2
1965	24.7	66.2
1970	19.3	83.5
1975	13.8	88.0

（『国勢調査報告』）

- ① エネルギー自給率を高めるため炭坑の開発が相次いだ。
- ② 製造業に従事する労働者が著しく減少した。
- ③ 政府が農業を重視したので、農業人口は増大した。
- ④ 高度成長期以降、石油の大量輸入が始まった。

問20 次の表は、19世紀末以降の世界全体の輸出総額に占める各国の割合の推移である。

表中のA～Dに当てはまる国名の組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

36

各国の輸出額の割合の推移 単位：％

	A	B	C	D
1890	10.2	0.4	11.5	20.6
1910	11.2	1.3	9.7	16.9
1930	10.8	2.7	14.7	10.5
1950	3.6	1.5	18.3	11.0
1970	12.2	6.9	15.2	6.9

(安藤良雄『近代日本経済史要覧』東京大学出版会による)

	A	B	C	D
①	イギリス	ドイツ	日本	アメリカ
②	ドイツ	日本	アメリカ	イギリス
③	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ
④	アメリカ	イギリス	ドイツ	日本

注) イギリス (United Kingdom), ドイツ (Germany), アメリカ (United States of America)

問21 19世紀末から20世紀初頭における列強の帝国主義 (imperialism) 的行為の記述として正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

37

- ① ドイツは海軍の大拡張をはかって、イギリスに挑戦した。
- ② ロシアは国内市場を拡大するために、シベリア横断鉄道の建設をすすめた。
- ③ フランスはインドシナや南アメリカに、大植民地を作った。
- ④ イギリスはキューバの独立を否定し、フィリピンとグアム島を領有した。

注) ドイツ (Germany), イギリス (United Kingdom), ロシア (Russia),
シベリア横断鉄道 (Trans-Siberian Railroad), フランス (France), インドシナ (Indochina),
南アメリカ (South America), キューバ (Cuba), フィリピン (Philippines),
グアム島 (Guam)

問22 民族自決 (national self-determination) に関する次の文章中の空欄 (a) ～(c) に入る人名と地域の組み合わせとして正しいものを、下の①～④の中から一つ選びなさい。

38

第1次世界大戦 (World War I) 後、(a) は理想主義にもとづき新しい国際秩序を求めたが、フランスやイギリスは自国の利益や植民地体制の維持を優先した。そのため、民族自決権の原則は、(b) だけに限定され、(c) やアフリカの国々の独立は無視された。

	a	b	c
①	ウィルソン	アジア	東ヨーロッパ
②	ウィルソン	東ヨーロッパ	アジア
③	トルーマン	東ヨーロッパ	アジア
④	T・ルーズベルト	南アメリカ	東ヨーロッパ

注) ウィルソン (Thomas Woodrow Wilson), トルーマン (Harry Truman),
T・ルーズベルト (Theodore Roosevelt),
フランス (France), イギリス (United Kingdom), アフリカ (Africa),
アジア (Asia), 東ヨーロッパ (Eastern Europe), 南アメリカ (South America)

問23 次の文章中の空欄 (a) ～(c) に当てはまる語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から一つ選びなさい。

39

イギリス人 (the British) の日常的な飲み物は、ミルクと砂糖を入れて飲む紅茶である。19世紀前半に生まれたこの習慣は、(a) から調達した労働力による (b) での砂糖生産、(c) からの茶の輸入などから成立した。

	a	b	c
①	西インド諸島	ブラジル	中国
②	アジア	ブラジル	インド
③	西アフリカ	西インド諸島	中国
④	西インド諸島	西アフリカ	インド

注) 西インド諸島 (West Indies), ブラジル (Brazil), 中国 (China), アジア (Asia),
インド (India), 西アフリカ (West Africa)

総合科目の問題はこれで終わりです。解答欄の 40 ～ 60 は、空欄にしてください。

平成15年度
日本留学試験(第1回)

正 解 表

平成15年度(2003年度)日本留学試験(第1回)試験問題 正解表

〈日本語〉

記述 問題解答例を293ページに掲載

聴解

問	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番
答	3	4	4	1	4	1	2	4	4	4	3	3	3	2	3	2

問	17番	18番	19番	20番
答	4	2	2	4

聴読解

問	1番	2番	3番	4番	5番	6番	7番	8番	9番	10番	11番	12番	13番	14番	15番	16番
答	4	1	1	1	2	4	4	2	2	3	4	2	1	3	1	3

問	17番	18番	19番	20番
答	3	2	3	3

読解

問	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15	問16
答	2	3	4	3	3	1	4	1	3	2	4	2	2	2	2	2

問	問17	問18	問19	問20
答	4	4	4	3

〈理 科〉

物 理

問	I							II			III		
	A			B		C		A		B	問1	問2	問3
	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問1	問2	問3			
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
答	2	1	4	4	2	2	3	2	3	2	6	3	1

問	IV						V	
	A			B	C		問1	問2
	問1	問2	問3	問4	問5	問6		
解答欄	14	15	16	17	18	19	20	21
答	3	5	2	6	3	7	2	4

化 学

問	問 1	問 2	問 3	問 4		問 5	問 6	問 7			問 8		問 9	問10	問11	
				(1)	(2)			(1)			(2)	(1)				(2)
								沈殿A	沈殿B	沈殿C						
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
答	1	5	3	2	5	4	4	4	2	3	3	2	2	4	5	3

問	問12	問13		問14
		A	B	
解答欄	17	18	19	20
答	1	3	2	4

生 物

問	問 1		問 2		問 3	問 4	問 5	問 6	問 7		問 8	問 9	問10	問11	問12	問13
	(1)	(2)	(1)	(2)					(1)	(2)						
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
答	1	4	2	3	3	4	1	3	4	2	1	4	6	3	4	5

問	問14	問15
解答欄	17	18
答	2	5

〈総合科目〉

問	問 1				問 2			問 3	問 4			問 5	問 6	問 7		問 8
	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)			(1)	(2)	
解答欄	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
答	4	3	3	1	1	4	3	2	3	1	2	4	4	3	4	2

問	問 9		問10			問11			問12	問13			問14	問15	問16	問17
	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)		(1)	(2)	(3)				(1)
解答欄	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
答	3	1	2	1	4	2	3	1	4	2	3	2	2	1	4	3

問	問17 (2)	問18	問19	問20	問21	問22	問23
解答欄	33	34	35	36	37	38	39
答	1	1	4	2	1	2	3

<数 学>

コース1

問	I						II								
	問1	問2			問3	問4	問1						問2		
解答欄	A	B	C	D	E	F	A	B	C	D	E	F	G	H	I
答	3	3	8	3	6	3	2	8	0	—	2	1	2	1	2

問	Ⅱ												Ⅲ			
	問2								問3				問1			
解答欄	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	A	B	C
答	3	2	1	2	1	—	3	2	2	5	3	1	5	0	—	4

問	Ⅲ															
	問1	問2													問3	
解答欄	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S
答	0	3	1	2	—	2	6	2	6	—	2	—	2	6	5	2

問	Ⅲ			Ⅳ												
	問 3			問 1							問 2		問 3			
解答欄	T	U	V	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
答	3	0	2	3	2	2	5	1	6	3	2	3	2	9	4	9

コース2

問	I					II									
	問1	問2	問3	問4		問1					問2				
解答欄	A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
答	3	3	8	5	7	2	8	0	—	2	1	—	2	3	2

問	II															
	問2								問3							
解答欄	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z
答	9	2	—	1	1	4	2	0	5	2	2	3	—	3	3	5

問	III															
	問1				問2								問3			
解答欄	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
答	0	—	4	0	2	2	2	2	3	4	3	3	3	3	3	8

問	Ⅲ				Ⅳ										
	問3				問1						問2				
解答欄	Q	R	S	T	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
答	4	4	1	3	3	2	2	5	1	6	3	1	6	1	2

問	IV									
	問2			問3						
解答欄	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U
答	5	6	1	1	2	5	1	0	2	5

「記述」問題解答例

①

学生は、いろいろな経験をしたほうが良いという意見に私は賛成する。

確かに、一つのことだけを追求した方が、時間を効率的に使うことはできるだろう。しかし、一つのことだけに専念するということは、一つの立場からしか物事を考えられなくなってしまうという危険ももっている。それは、自分とは違う立場の人を傷つけてしまったり、物事の行き詰まりから抜け出せなくなってしまう原因になるだろう。

違う立場から物事を考えてみるためもっともよい方法は、「いろいろな経験をする」ということだと私は思う。自分自身がさまざまな立場に立ってみることで、そのとき感じたこと、思ったこと、などが心の中にたまっていく。おそらくこうした蓄積は、「今まで経験したこともないような立場におかれたとき、どう感じるか」を想像するための手がかりになるはずだ。一見無駄なように思える経験であっても、想像力を豊かにするという役割は、十分に果たすことができるのである。

②

マンションに住むとしたら私は下の階に住みたいと思う。

上の階に住むとエレベーターを使わなければならないので外に出るときは不便だし、火事や災害があった場合は危険である。また、エレベーターが故障した場合はすぐ生活に支障をきたす。

そのほかにも上の階に住む子供と下の階に住む子供には違いあるという報告を読んだことがある。それによると、下の階の子供のほうが遊び友達も多く活発であるという結果だったようだ。やはり、外に出るためにエレベーターを使わなければならないか、自分の足で気軽に外に出られるかは子供の社会性を育てる上でも問題になるということだ。

その点一階はエレベーターの必要がないから、以上のような問題はない。また、最近では庭付きの一階のマンションやアパートが人気があるようだ。庭があって、土や木や花などの自然と触れ合える環境は人間にとって大事なのではないだろうか。

以上のような理由で私は下の階に住むほうが良いという考えだ。

「記述」採点基準

「記述」の採点に当たっては、文法的能力及び論理的能力のそれぞれについて、以下の基準に基づき採点し、その合計点（0～6点）を表示する。

（1）文法的能力（0～3点）

- 個々の文についても、文章全体についても、執筆者の意図が明快に理解可能であるもの（文法・表記上の軽微な誤りや文体上やや不自然な点は許容する。）……………3点
- 文法・表記上明らかに適切でない点を含むが、文章全体から執筆者の意図は明快に理解可能であるもの……………2点
- 文法・表記上明らかに適切でない点がかかなり目立つが、文章全体から執筆者の意図を想像することは可能であるもの……………1点
- 意味不明の文が多く、文章全体から執筆者の意図を理解することが不可能又は極めて困難なもの……………0点

（2）論理的能力（0～3点）

- 主張に根拠が示されており、かつ、主張と根拠との間に十分な論理的関係があり、矛盾が認められないもの……………3点
- 主張に根拠が示されており、概ね論理的な関係が認められるが、一部に論理的矛盾や非整合性も存在するもの……………2点
- 主張は示されているが、その根拠が示されていない、又は、根拠が示されていても、論理性・客観性を著しく欠いているもの……………1点
- 筆者自身の主張が示されていない、又は、何を主張したか曖昧であるもの……………0点